



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

機構ニュース

Vol.176 2018 January

今月の記事

Top News

○大学改革支援・学位授与機構シンポジウムを開催 1

質保証連携

国内外の質保証機関等との連携

○「キャンパス・アジア」モニタリング・ワーキンググループ会合を開催 2

諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供

○第17回 桜美林大学・北京大学シンポジウムへ参加 3

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

○平成29年度10月期申請に係る学位授与試験を実施 4

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

○23人から学位授与の申請一修士又は博士相当の課程修了見込者一 5

主要行事日程

○Schedule（1月～3月） 6

TOP NEWS

○大学改革支援・学位授与機構シンポジウムを開催

機構は、平成 29 年 12 月 1 日（金）に大学改革支援・学位授与機構シンポジウム「先導的取組を通して大学改革の成果と課題を考える―人材とナレッジ―」を開催しました。

機構では、平成 28 年度からの 3 年間、「大学と社会の対話を通して高等教育の発展を考える」を統一テーマとするシンポジウムを開催しており、今回はその第 2 回目として、人材育成と大学の学位、学生に求められるナレッジ（知）という観点から、今後の大学改革の在り方を考えるものです。

当日のプログラムは三部構成となっており、福田秀樹機構長の開会挨拶後、第一部「社会が求める人材像」では日本アイ・ビー・エム株式会社名誉相談役の橋本孝之氏による基調講演「新産業革命と社会的インパクト―新たな時代におけるリーダーシップ―」に続き、事例紹介として、2 つの企業から人材採用・育成方針や人材マネジメントについて講演いただきました。株式会社日立製作所人事教育総務センタ採用グループ部長代理の山下朋子氏からは、「企業における人材育成と学生に期待するナレッジ」と題し、同社において求める能力・素養を有する人材の育成における産学の役割分担についての考えや、特に理系人材に求める素養と採用事例などについてお話しいただきました。また、三菱商事株式会社人事部付部長／ヒューマンリンク株式会社代表取締役社長の和光貴俊氏からは、「三菱商事の人事・採用戦略と高等教育への期待」と題し、同社において求める経営人材や採用にあたっての選考方法・材料や価値観などについてお話しいただきました。その後、会場内との質疑応答が行われました。



開会挨拶する福田機構長

第二部「大学における人材育成の取組、成果と課題」では、大学側の事例紹介として、東京工業大学副学長（教育運営担当）の水本哲弥氏から「東京工業大学の教育改革～学びの刷新～」と題し、平成 28 年度から開始した教育改革の狙いや内容などについて、続いて立教大学経営学部教授・学部長／同大学リーダーシップ研究所所長の石川淳氏から「立教大学経営学部の事例」と題し、同大学経営学部が目指すリーダーシップを発揮できる人材を育成するための各種の独自プログラムについてお話しいただきました。



パネルディスカッションの様子

第三部のパネルディスカッションでは、コーディネーターの首都大学東京理事／当機構研究開発部客員教授の吉武博通氏の進行のもと、コメンテーターにリクルートワークス研究所主幹研究員の豊田義博氏を迎え、第二部登壇者 2 名と当機構岡本和夫理事がパネリストとして登壇しました。冒頭に、豊田氏による、若手社員の実態と環境適応性が身につくための大学での経験・学習についての講演の後、第一部と第二部での事例紹介を基に登壇者によるディスカッションが行われ、後半には会場も交えて様々な意見が交わされました。

最後に岡本理事からの挨拶をもってシンポジウムは盛況のうちに終了しました。



当日の会場の様子

質保証連携

国内外の質保証機関等との連携

○「キャンパス・アジア」モニタリング・ワーキンググループ会合を開催

平成29年12月1日（金）に中国教育部高等教育教学評価センター（HEEC: Higher Education Evaluation Center of the Ministry of Education）において、「キャンパス・アジア」モニタリングに関する日中韓実務者会合である「キャンパス・アジア」モニタリング・ワーキンググループ会合を開催しました。当機構からは、竹中研究開発部主幹及び国際課職員の計4名が、HEECからは4名、韓国大学教育協議会（KCUE: Korean Council for University Education）からは1名が実務者として出席しました。

会合では、平成30年に実施予定の「キャンパス・アジア」第2モード（本格実施）プログラムに対するモニタリングの手法などについて協議を行いました。具体的には、モニタリングの実施スケジュールや、モニタリングを受けるコンソーシアムが作成する自己評価書のフォーマット、さらには日中韓のそれぞれの質保証機関がモニタリングを担当するコンソーシアムの割り当てなどを協議しました。

今回の協議結果に基づき、今後、当機構が自己評価書のフォーマットに修正を加えて日中韓で共有することや、モニタリングの意思決定を担う日中韓共同モニタリング委員会（平成30年開催予定）の実施に向けて、各国で委員の選考を行うことなどについて合意がなされました。



HEEC オフィス（北京）での協議の様子

諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供

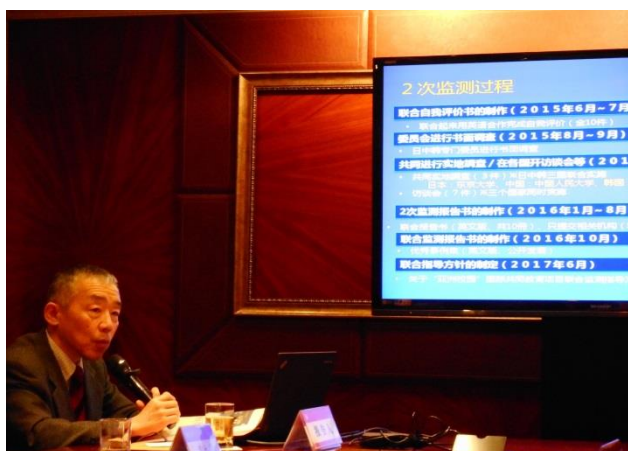
○第17回 桜美林大学・北京大学シンポジウムへ参加

平成29年12月9日（土）に、北京において桜美林大学と北京大学によりシンポジウムが共催で実施され、当機構からは竹中研究開発部主幹及び国際課職員1名が参加しました。

このシンポジウムは、桜美林大学及び北京大学の学術交流の一環として、日本と中国の教育、文化、交流等について共有及び理解を促進することを目的として、16年間にわたって開催されているものです。

第17回目となる本シンポジウムは、日中間の教育、環境、文化をメインテーマとしており、それぞれ、教育については「『キャンパス・アジア』について」、環境については「エコカー認定と開発をめぐる政治と環境」、文化については「中国と日本の民間文学」に関する講演とディスカッションで構成されました。

日本からは主に桜美林大学の関係者が、中国からは北京大学の関係者が、総勢20名程度登壇し、当機構からは竹中主幹が「『キャンパス・アジア』モニタリング 国際共同教育プログラムの質の向上を目指す日中韓共同の取組」をテーマに、「キャンパス・アジア」の概要、実施体制やモニタリングを通して抽出された優良事例等について発表を行いました。その後のディスカッションでは、桜美林大学及び北京大学の両機関の出席者から様々な意見や提言がなされました。



講演する竹中主幹



シンポジウム全体を講評する
桜美林学園常務理事田中氏

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

○平成29年度10月期申請に係る学位授与試験を実施

平成29年12月10日（日）及び17日（日）に、「大学改革支援・学位授与機構 平成29年度10月期学位授与試験」を実施しました。

面接試験は東京で、小論文試験は全国2か所（東京・大阪）で実施しました。

試験の実施状況は次のとおりです。

1 面接試験

(1) 日 時 平成29年12月10日(日) 10時30分～14時00分
(1人あたり15分程度)

(2) 受験状況

受験予定者数	56人
受 験 者 数	56人
欠 席 者 数	0人
受 験 率	100%

2 小論文試験

(1) 日 時 平成29年12月17日(日) 午前の部 10時30分～12時00分
午後の部 14時30分～16時00分

(2) 受験状況

受験予定者数	578人
受 験 者 数	575人
欠 席 者 数	3人
受 験 率	99.5%

今後、各専門委員会・部会における修得単位の審査及び学修成果・試験の審査を経て、平成30年2月15日（木）開催の学位審査会で最終審査が行われ、合格者には学士の学位を授与する予定です。

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

○23人から学位授与の申請—修士又は博士相当の課程修了見込者—

大学院に相当する教育を行う課程として認定されている各省庁大学校の平成30年3月修了見込者23人（修士課程相当18人、博士課程相当5人）から、学位授与の申請がありました。

今後、各専門委員会・部会における論文の審査及び試験（口述）を経て、平成30年3月9日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われ、合格者にはそれぞれ修士又は博士の学位が授与される予定です。

<修士及び博士の学位授与申請者数>

認 定 課 程 名	学位（専攻分野）	申請者数 （人）
防衛大学校 理工学研究科（前期課程）	修士（理学）	1
	修士（工学）	3
防衛大学校 理工学研究科（後期課程）	博士（工学）	5
防衛大学校 総合安全保障研究科（前期課程）	修士（安全保障学）	9
水産大学校 水産学研究科	修士（水産学）	2
国立看護大学校 研究課程部看護学研究科	修士（看護学）	3
合 計		23

主要行事日程

○ Schedule

1月

日	行事名	担当課
10日	大学機関別認証評価委員会（第3回）	評価支援課
12日	高等専門学校機関別認証評価委員会（第2回）	評価支援課
24日	法科大学院認証評価委員会（第2回）	評価支援課
29日	平成 29 年度人材育成セミナー「内部質保証ワークショップ（第2回）」	評価企画課
31日	大学ポートレート運営会議（第8回）	評価企画課

2月

日	行事名	担当課
15日	学位審査会（平成 29 年度第 4 回）	学位審査課
23日	学位記伝達式・講評	学位審査課

3月

日	行事名	担当課
7日	大学機関別認証評価委員会（第4回）	評価支援課
8日	高等専門学校機関別認証評価委員会（第3回）	評価支援課
9日	学位審査会（平成 29 年度第 5 回）	学位審査課
12日	法科大学院認証評価委員会（第3回）	評価支援課

